

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科	科 目 区 分		専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		看護過程の応用と成人看護技術		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		3年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各教室
担 当 教 員		今若 広之	実務経験と その関連資格	総合病院で看護師として勤務			
《授業科目における学習内容》							
急性期・終末期に関する講義で学んだ知識を基盤として、成人看護学実習Ⅱに活かせるように、事例を用いて周手術期のアセスメントの仕方と看護技術を学ぶ。患者の個性・状況を捉え、潜在的な合併症や安全に対する予期的な認知力を高め、看護過程を展開し、終末期にある患者への必要な援助計画を立案することができる。							
《成績評価の方法と基準》							
授業参加状況、演習への取り組み、課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
①系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院 ②系統看護学講座 臨床看護総論 医学書院 ③系統看護学講座 成人看護学総論 医学書院 ④系統看護学講座 臨床外科看護各論 医学書院				⑤系統看護学講座 がん看護学 医学書院 ⑥系統看護学講座 緩和ケア 医学書院 ⑦系統看護学講座 呼吸器 医学書院 ⑧よくわかる周手術期看護 学研			
《授業外における学習方法》							
事例をもとに周手術期の看護展開を行う。手術及び全身麻酔による術後の合併症について復習しておく。術前に必要な検査をまとめる。終末期にある患者の看護展開に必要な学習をしておく。終末期にある患者、家族を4側面から捉えられるように復習しておく。							
《履修に当たっての留意点》							
成人期にある対象の健康問題の判別、解決に必要な基礎的知識など既習の学習を復習して臨んでほしい。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例から得られる情報をもとに、急性期の対象の全体像を捉え看護過程の展開ができる		系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、消化器、基本看護技術Ⅰ・Ⅱ)	周手術期に必要な看護、看護技術、点滴管理、寝衣交換、フィジカルアセスメントについて復習しておく。	
		各コマにおける授業予定	急性期(周術期)にある患者の看護。事例をもとに看護過程の展開をする(疾患の病態生理・治療・看護の学習)				
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例から得られる情報をもとに、急性期の対象の全体像を捉え看護過程の展開ができる		系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、消化器、基本看護技術Ⅰ・Ⅱ)	周手術期に必要な看護、看護技術、点滴管理、寝衣交換、フィジカルアセスメントについて復習しておく。	
		各コマにおける授業予定	急性期(周術期)にある患者の看護。事例をもとに看護過程の展開をする(疾患の病態生理・治療・看護の学習)				
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例から得られる情報をもとに、急性期の対象の全体像を捉え看護過程の展開ができる		系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、消化器、基本看護技術Ⅰ・Ⅱ)	周手術期に必要な看護、看護技術、点滴管理、寝衣交換、フィジカルアセスメントについて復習しておく。	
		各コマにおける授業予定	急性期(周術期)にある患者の看護。事例をもとに看護過程の展開をする(情報収集と整理・関連図の作成・看護問題の抽出・看護計画の立案)				
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例から得られる情報をもとに、急性期の対象の全体像を捉え看護過程の展開ができる		系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、消化器、基本看護技術Ⅰ・Ⅱ)	周手術期に必要な看護、看護技術、点滴管理、寝衣交換、フィジカルアセスメントについて復習しておく。	
		各コマにおける授業予定	急性期(周術期)にある患者の看護。事例をもとに看護過程の展開をする(情報収集と整理・関連図の作成・看護問題の抽出・看護計画の立案)				
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例から得られる情報をもとに、急性期の対象の全体像を捉え看護過程の展開ができ、術後の看護を考えることができる		系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、消化器、基本看護技術Ⅰ・Ⅱ)	周手術期に必要な看護、看護技術、点滴管理、寝衣交換、フィジカルアセスメントについて復習しておく。	
		各コマにおける授業予定	急性期(周術期)にある患者の看護。事例をもとに看護過程の展開をする(術後の看護を考える)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	事例から得られる情報をもとに、終末期の対象の全体像を捉え看護過程の展開ができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、呼吸器、緩和ケア、がん看護)	事例患者の疾患、状態の把握、終末期にある患者、家族の思いについて考える
		各コマにおける授業予定	終末期にある患者の看護。事例をもとに看護過程の展開をする(疾患の病態生理・治療・看護の学習)□		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	事例から得られる情報をもとに、終末期の対象の全体像を捉え看護過程の展開ができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、呼吸器、緩和ケア、がん看護)	事例患者の疾患、状態の把握、終末期にある患者、家族の思いについて考える
		各コマにおける授業予定	終末期にある患者の看護。事例をもとに看護過程の展開をする(疾患の病態生理・治療・看護の学習)□		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	事例から得られる情報をもとに、終末期の対象の全体像を捉え看護過程の展開ができ、計画を立案することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、呼吸器、緩和ケア、がん看護)	事例患者の疾患、状態の把握、終末期にある患者、家族の思いについて考える
		各コマにおける授業予定	終末期にある患者の看護。事例をもとに看護過程の展開をする(情報収集と整理・関連図の作成・看護問題の抽出・看護計画の立案)		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	事例から得られる情報をもとに、終末期の対象の全体像を捉え看護過程の展開ができ、計画を立案することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、緩和ケア、がん看護)	事例患者の疾患、状態の把握、終末期にある患者、家族の思いについて考える
		各コマにおける授業予定	終末期にある患者の看護。事例をもとに看護過程の展開をする(情報収集と整理・関連図の作成・看護問題の抽出・看護計画の立案)		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	事例から得られる情報をもとに、終末期の対象の全体像を捉え看護過程の展開ができ、疼痛のある患者の看護を考えることができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、呼吸器、緩和ケア、がん看護)	事例患者の疾患、状態の把握、終末期にある患者、家族の思いについて考える
		各コマにおける授業予定	終末期にある患者の看護。事例をもとに看護過程の展開をする(疼痛のある患者の看護を考える)		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	事例から得られる情報をもとに、急性期の対象の全体像を捉え看護過程の展開ができ、術後の看護を考えることができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、消化器、基本看護技術Ⅰ・Ⅱ)	周手術期に必要な看護、看護技術、点滴管理、寝衣交換、フィジカルアセスメントについて復習しておく。
		各コマにおける授業予定	急性期(周術期)にある患者の看護。事例をもとに看護過程の展開をする(術後の看護を考える)		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	事例から得られる情報をもとに、終末期の対象の全体像を捉え看護過程の展開ができ、疼痛のある患者の看護を考えることができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、緩和ケア、がん看護)	事例患者の疾患、状態の把握、終末期にある患者、家族の思いについて考える
		各コマにおける授業予定	終末期にある患者の看護。事例をもとに看護過程の展開をする(疼痛のある患者の看護を考える)		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	術後の看護を説明することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、消化器、基本看護技術Ⅰ・Ⅱ)	周手術期に必要な看護、看護技術、点滴管理、寝衣交換、フィジカルアセスメントについて復習しておく。
		各コマにおける授業予定	急性期(周術期)にある患者の看護。事例をもとに術後の看護についての発表		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	疼痛のある患者の看護を説明することができる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、緩和ケア、がん看護)	事例患者の疾患、状態の把握、終末期にある患者、家族の思いについて考える
		各コマにおける授業予定	終末期にある患者の看護。事例をもとに疼痛のある患者の看護についての発表		
第15回	講義 形式	授業を通じての到達目標	急性期、終末期の看護が説明できる	系統別看護学講座(成人看護学、臨床看護技術、消化器、基本看護技術Ⅰ・Ⅱ、事前学習ノート緩和ケア、がん看護))	周手術期、終末期に必要な看護、看護技術を復習しておく
		各コマにおける授業予定	急性期の看護、終末期の看護のまとめ		